

表面処理技術のさらなるグローバル展開をめざして

第54期・2014年3月期

第2四半期決算説明会資料

株式会社 JCU

東証1部 4975

2013年11月8日(金)

<http://www.jcu-i.com/>



- 
- 2014年3月期第2四半期決算概況
 - トピックス

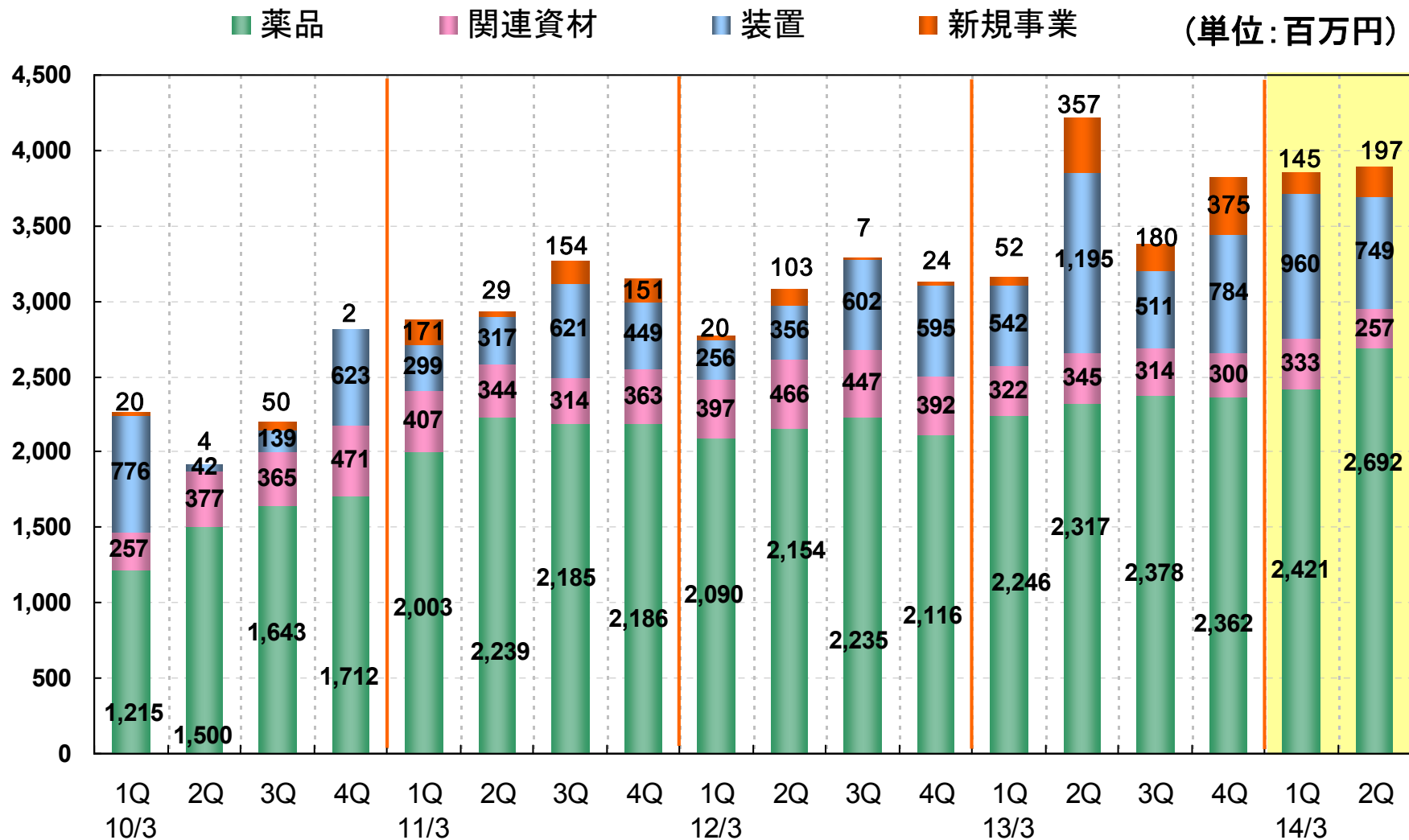
2014年3月期第2四半期業績概況

【連結】

(単位:百万円)

決算期	2013年3月期	2014年3月期		
	上半期	期首予想	上半期実績	対前期増減率
売上高	7,377	7,700	7,753	5.1 %
営業利益	962	1,000	1,115	15.8 %
経常利益	966	1,000	1,278	32.2 %
当期純利益	582	600	773	32.8 %
1株当たり 当期純利益	165円19銭	170円10銭	219円31銭	—

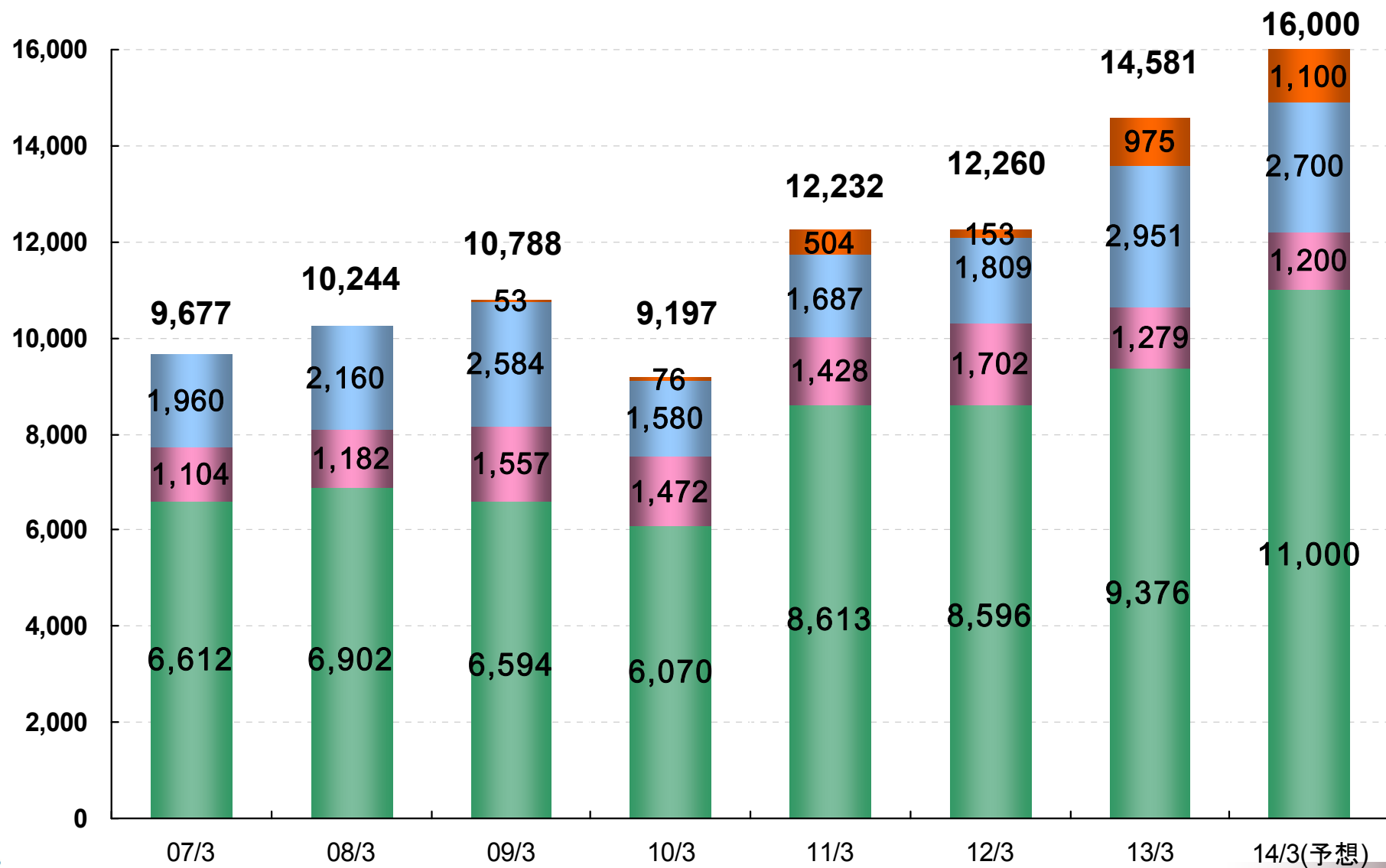
四半期別製品構成別売上高推移



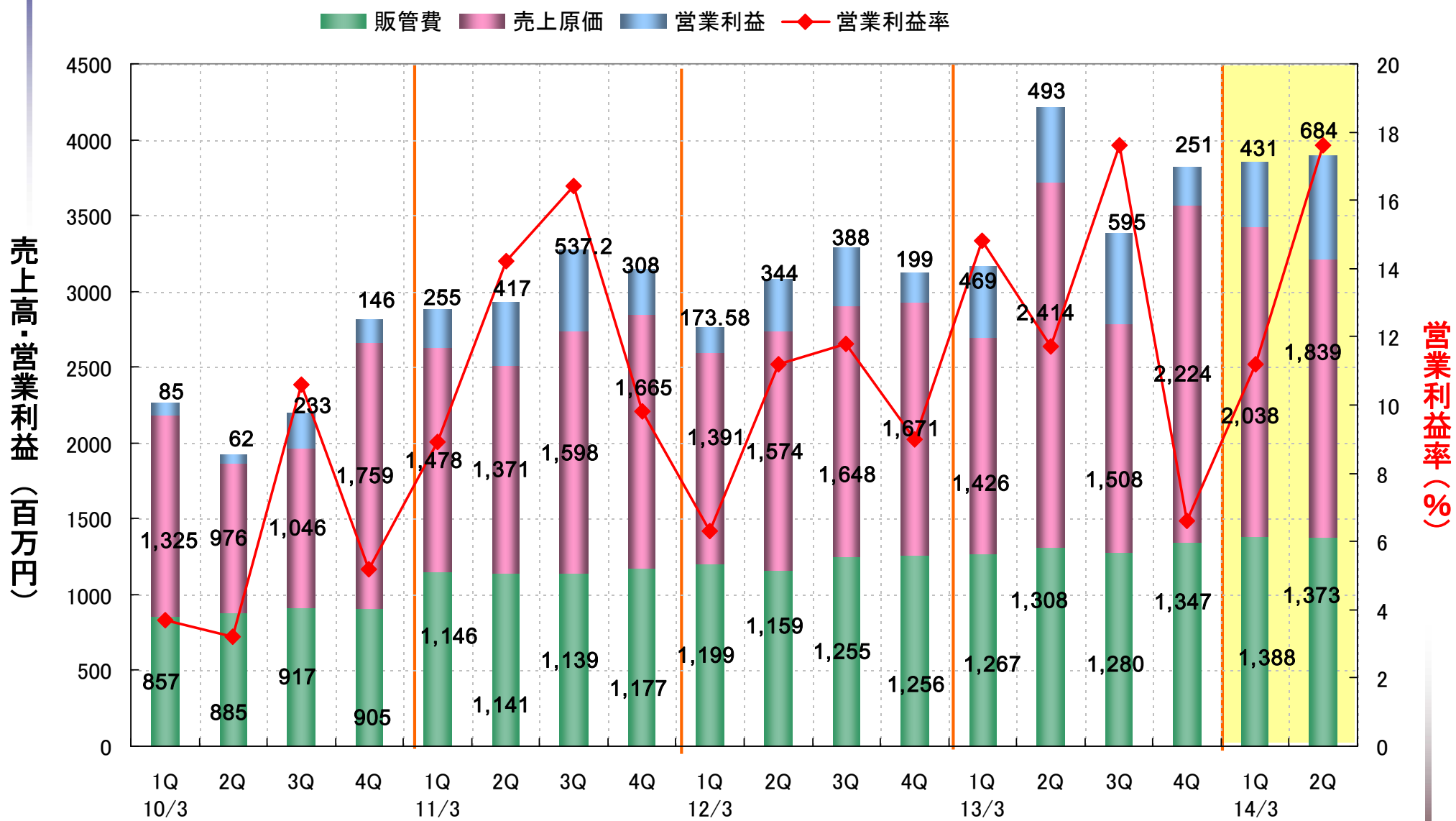
年度別製品構成別売上高推移

(単位: 百万円)

■ 薬品 ■ 関連資材 ■ 装置 ■ 新規事業



四半期別販管費・売上原価・営業利益・営業利益率推移

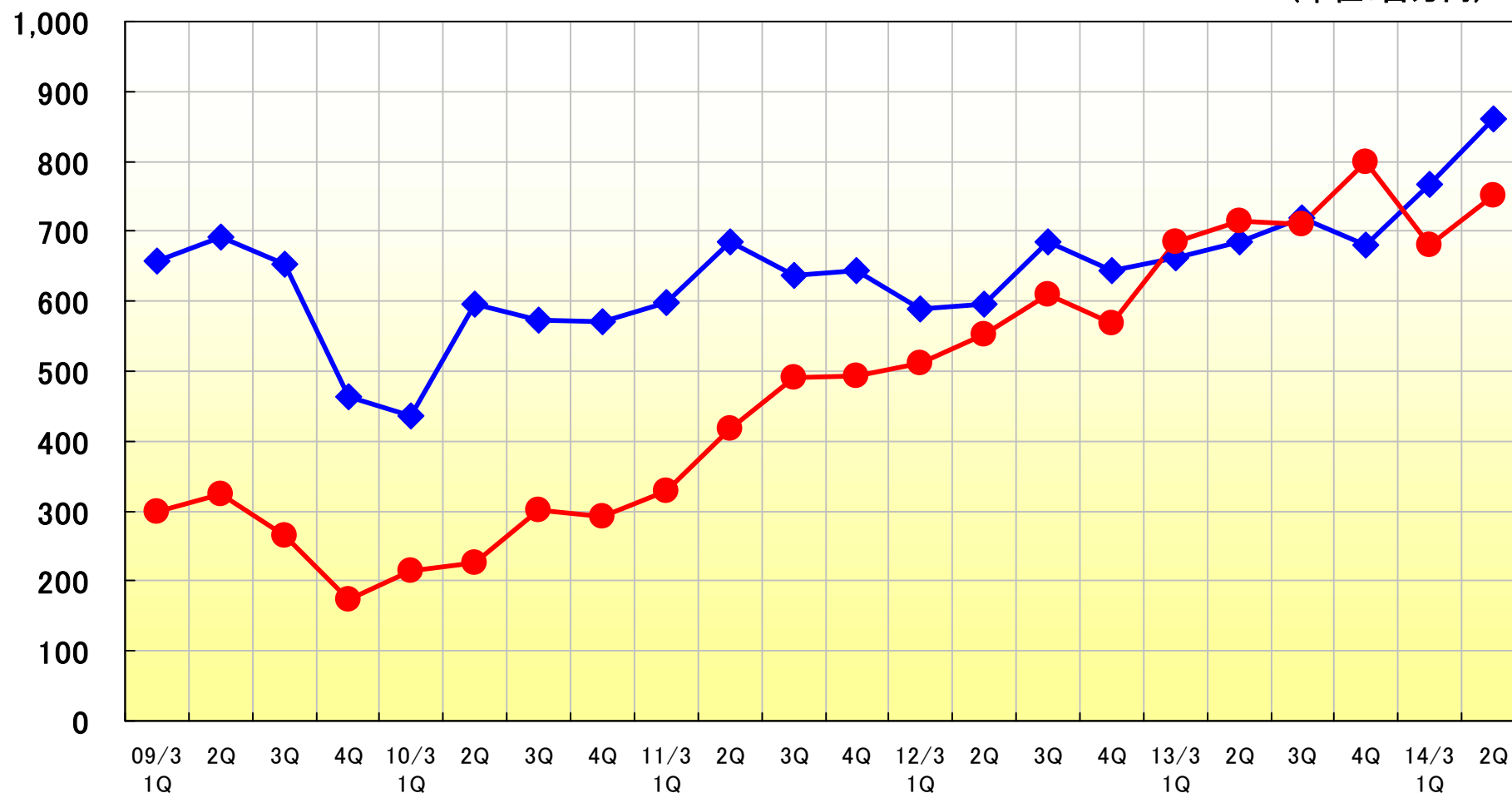


POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

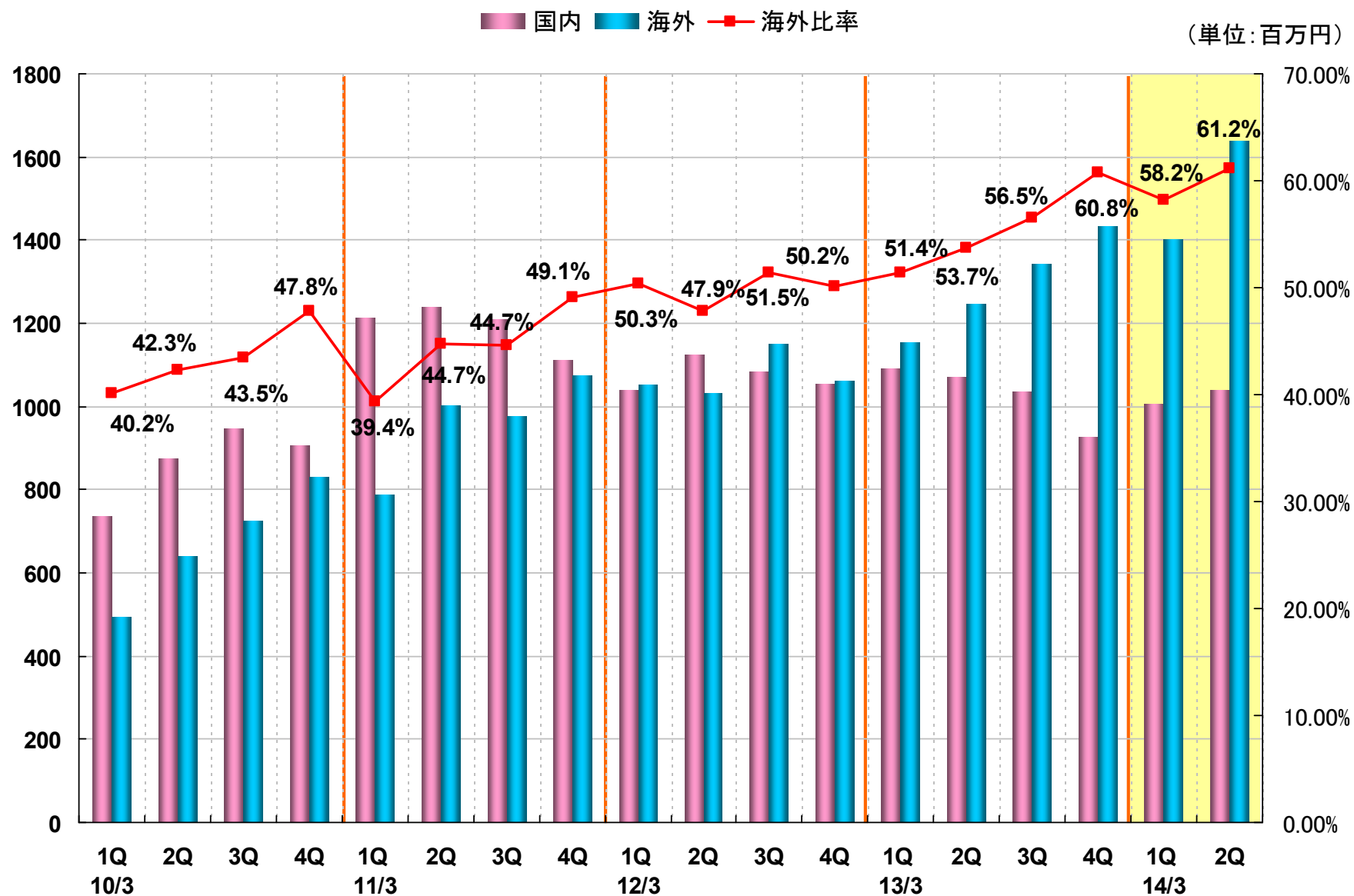
POP・・・Plating on Plastics (プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け)

◆ POP ● ビアフィリング

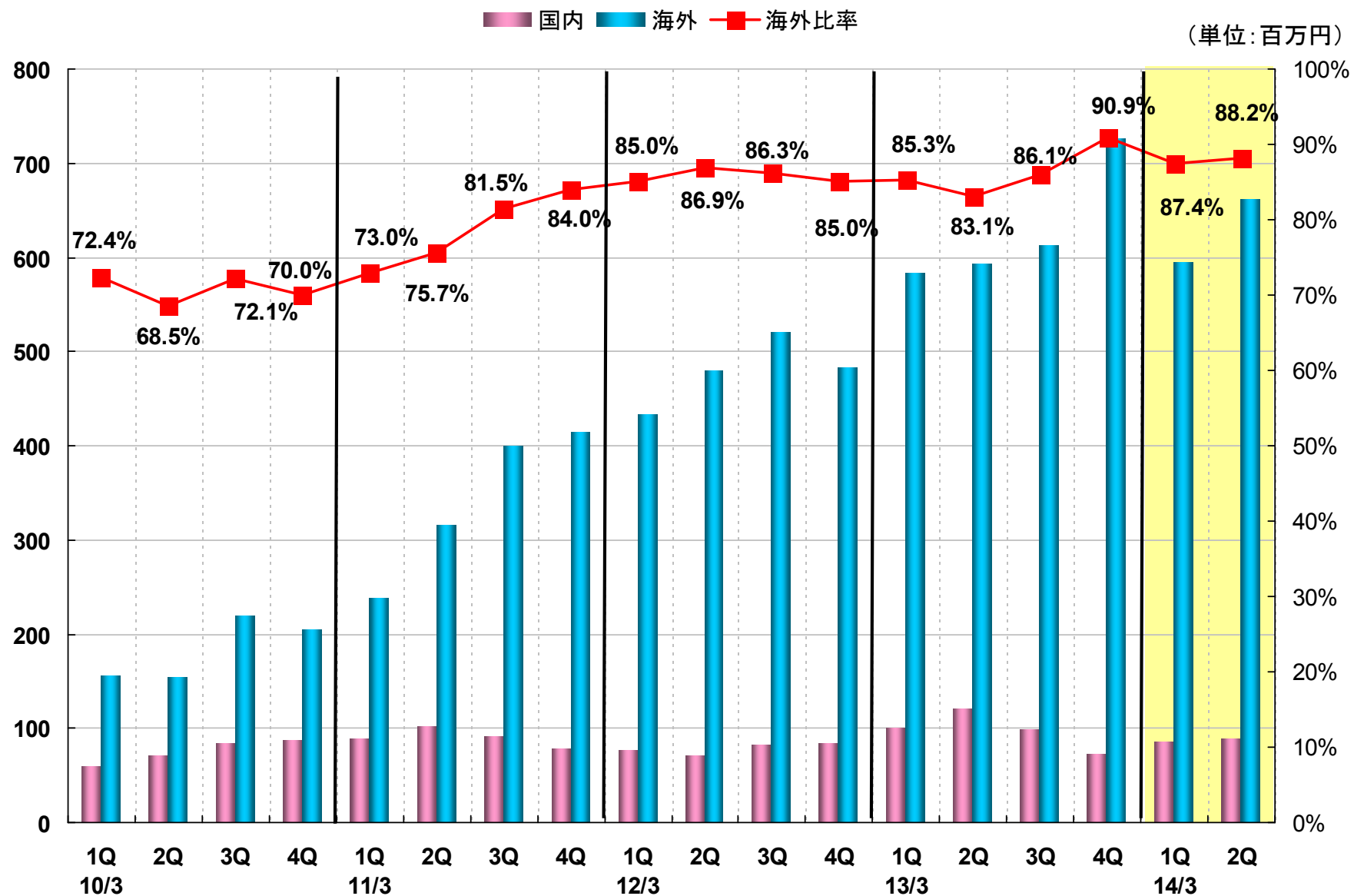
(単位: 百万円)



薬品全体の国内・海外マーケット別売上高推移



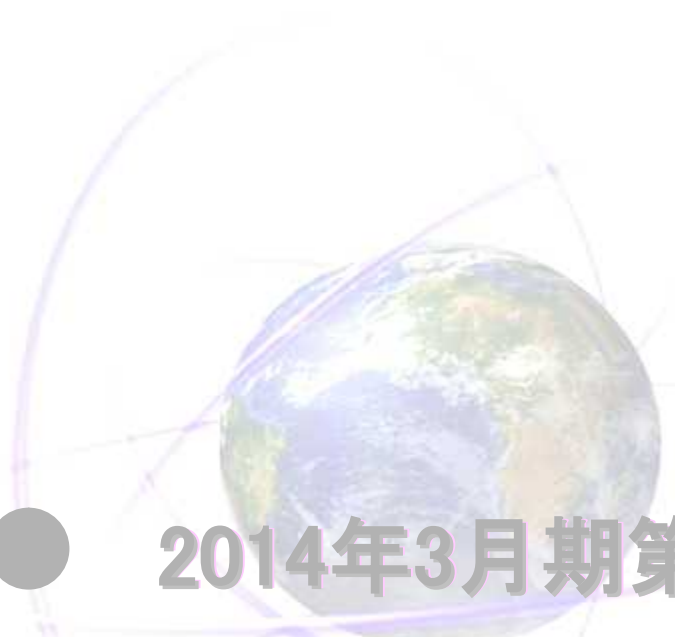
主力製品ビアフィル用薬品国内・海外マーケット別売上高推移



配当状況

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
14年3月期	55円 (内:記念配当10円)	45円(予想)	100円(予想)
13年3月期	35円	45円 (内:記念配当10円)	80円
12年3月期	30円	30円	60円
11年3月期	27円	30円	57円
10年3月期	27円	27円	54円

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

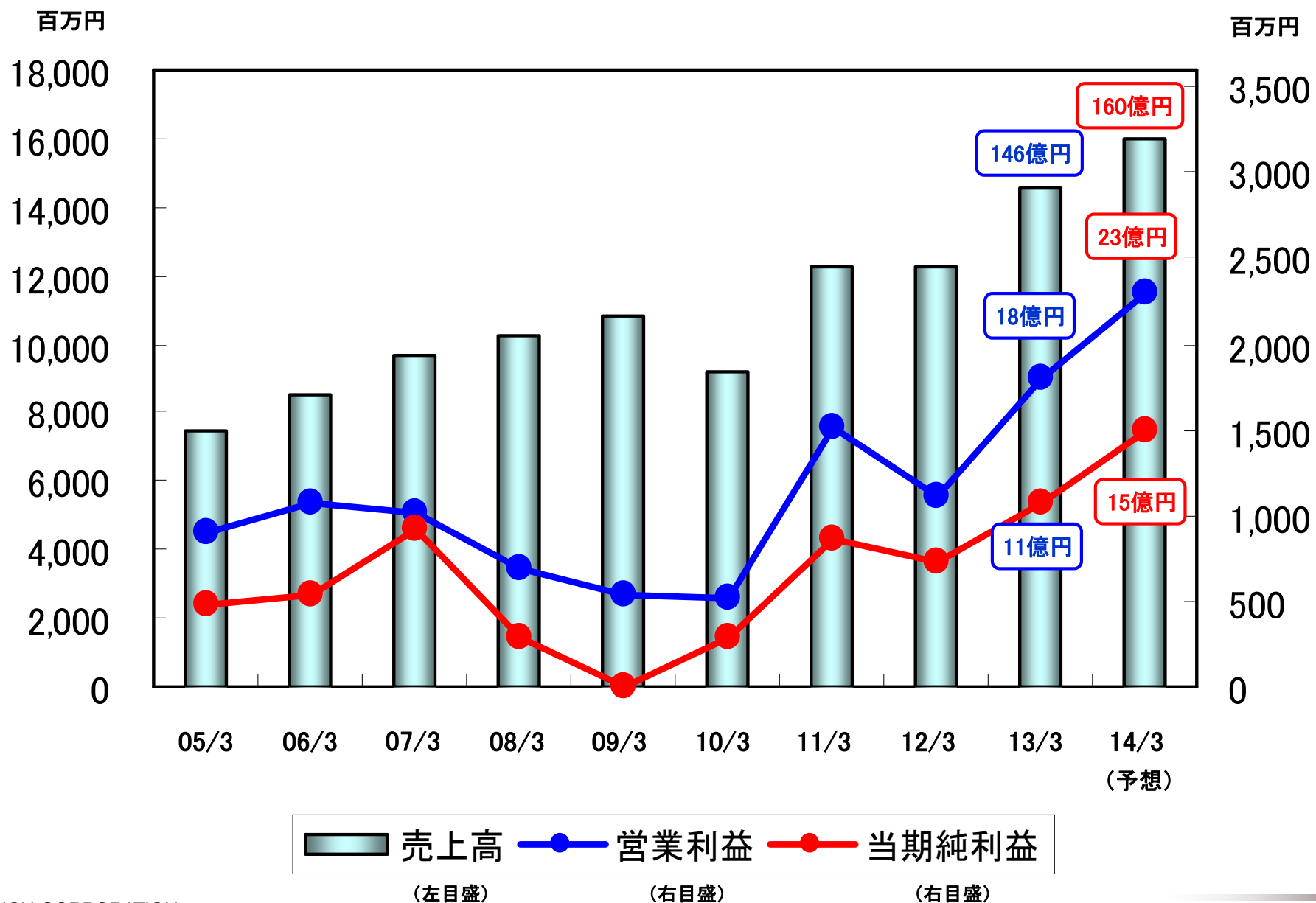
- 
- 2014年3月期第2四半期決算概況
 - トピックス

業績予想

(単位:百万円)

決算期	2014年3月期			
項目	第2四半期 (実績)	通期 (期首予想)	通期 (修正予想)	前年同期に 対する増減率
売上高	7,753	15,800	16,000	9.7 %
営業利益	1,115	2,100	2,300	27.3 %
経常利益	1,278	2,100	2,400	26.1 %
四半期(当期) 純利益	773	1,300	1,500	38.8 %
1株当たり 当期純利益(円)	219円31銭	368円56銭	425円26銭	—

業績の推移



メキシコ現地法人: JCU AMERICA, S.A. DE C.V.

メキシコ市場

- ◆ 近年、メキシコからアメリカおよび南米への自動車輸出が拡大
- ◆ 日系自動車メーカーも生産基地として進出
- ◆ 帯同して、自動車部品メーカーも進出

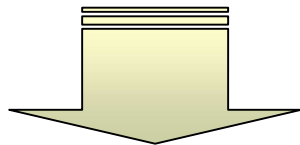
当社の対応

- ◆ 2007年に現地法人を設立
- ◆ 昨年から日本人3名を派遣し、日系企業へのサポート体制を拡充
- ◆ 亜鉛めっき薬品大手 **ディップソール社との業務提携**
- ◆ 今年12月末完成予定で、現地に製造工場を建設中（次ページ新聞）



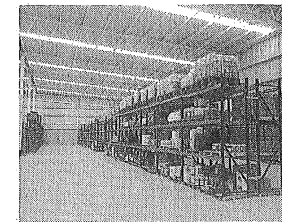
今後の方策

- ◆ ディップソールとの協業により、現地でめっきを行なう企業5社から薬品を受注
- ◆ 日系企業の攻略とサポート
- ◆ 現地ローカル企業への拡販
- ◆ 生産工場の稼働で、輸送コストの低減と納期短縮



売上拡大とコスト低減で利益向上

メキシコに新工場



建設中のメキシコ新工場

JCUはメキシコに自動車向けメッキ薬品工場を新設する。2014年初頭に稼働の予定。現地市場の需要増に対応する。またベトナムの既存工場を移転・拡張する。生産能力を引き上げて14年春から主に電子部品向けに出荷を始める。生産能力は明らかにしていないが、西工場とも年間売上高10億円が目標。山本雅司専務は「生産から販売までの海外拠点のフルライン化を進める」としている。

海外生産を増強し、コスト削減につなげる。メキシコの新工場は8000万円を投じて体制を整える。現地法人のJCUメキシコが運営する。北米や中南米向け輸出増のため、自動車・部品メーカーが進出している。品質要求が高度化

生産能力も倍以上にする。チャイナ・フランス・ワンの動きが活発化。製造業の進出が加速している。プリント配線板などの電子部品向けのほか、自動車向けにも供給する。JCUは韓国・中国、台湾、タイに開発拠点を配置し、生産拠点の増強と合わせて研究開発体制の整備に取り組んでいる。現地ニーズを的確にとらえて「現地企業やポリウムソーの製品分野などを獲得したい」と山本専務としている。

JCU、現地需要増対応

メッキ薬品ベトナムでも拡張

日刊工業新聞 2013年9月30日(月) 7面

※ 記事の著作権は日刊工業新聞社に帰属します。

新事業進捗：ノーシアン金めっきの開発

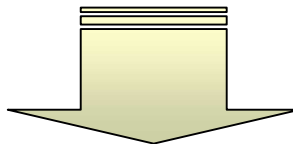
金めっきの用途

- ◆ プリント基板、半導体ウエハー、電子部品 → 最終表面処理に使用

金めっきには、**有毒なシアン**が使用されている

課 題

- ◆ 中国では、政府主導でシアンを使用規制
- ◆ シアンを使用しない亜硫酸金 → 安定性悪く、実用化は限定的
- ◆ 同じくシアンを使用しないレモン酸金の開発が頓挫



安定性に優れた新しいノーシアン金が必要

新事業進捗：ノーシアン金めっきの開発

当社の対応

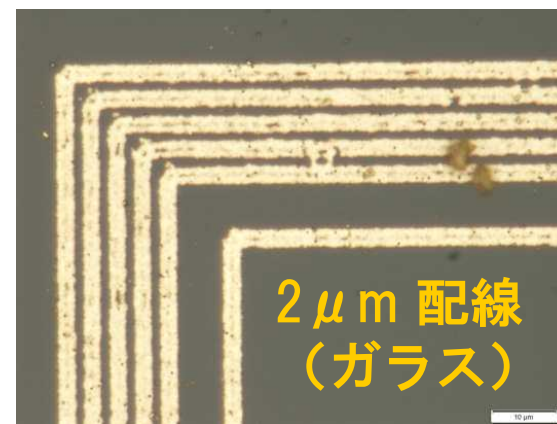
JCUは独自で安定性の優れた新しいノーシアン金めっきの研究開発に力を注ぎ、完成に向けて最終段階まで進んでいます。

市場

中国市場での展開が可能

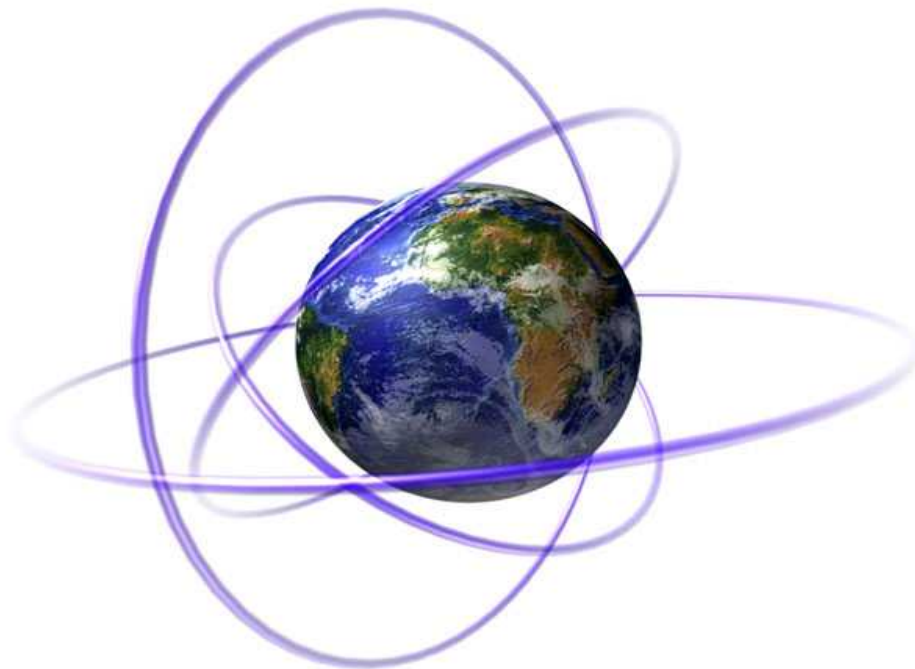
将来性

体内で使用する医療デバイスへの応用に期待される



ガラス上への金めっき

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:
<http://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先:
TEL: 03-6895-7001
FAX: 03-6895-7021
Mail: ir@jcu-i.com